

## 常葉寿学級 絵付け体験で日本伝統の文化に触れる

6月28日、常葉寿学級の移動学習が須賀川市・郡山市で行われ、16人が参加しました。

今回は「日本伝統の文化に触れる」を目的に、須賀川絵のぼり吉野家でトートバッグの絵付けをしました。

絵付けの難しさを体験した学級生からは、「ハケに付ける顔料の調節と細部の筆使いが難しかった」という感想が聞かれました。

郡山市の布引高原では、壮大な景色を眺めながらの散策を楽しみました。

コロナウイルスの感染対策もしっかり行い、充実した一日を過ごしました。



## 退任式 地域おこし協力隊の大類日和さんが任期満了で退任

田村市起業型地域おこし協力隊の大類日和さんが任期満了を迎え、6月29日に市役所で退任式が行われました。

任期中は市内ムシムシランドのポスターを制作するなど、デザイン、動画制作を中心に活躍しました。今後は市内に定住し起業を予定しています。

市長が感謝状と花束を手渡し、今までの活動をねぎらうとともに、今後の活動に対しエールを送りました。



## 企業と学校の懇談会 採用に向け、活発な情報交換

6月30日、市内立地企業と高校・専門学校進路指導担当教諭などとの懇談会が市総合体育館で開かれました。

この事業は、企業の求める人材確保と若年層の雇用定着を目的に毎年行われているものです。

船引高校をはじめとする9校21人の進路指導担当教諭と、市内立地企業20社の雇用担当者が出席し、新卒者の採用に関する活発な情報交換が行われました。



## 包括的連携協定 市と大塚製薬株式会社が協定締結

7月6日、田村市と大塚製薬株式会社は、健康増進の推進に関する包括的連携協定を締結しました。

大塚製薬株式会社は、全国の自治体と連携し、各地で熱中症予防対策や生活習慣病予防対策などに取り組みされており、市においても、健康増進に関する施策や食育、災害時の対応など幅広い分野で連携していく予定です。



## 「人権の花」運動 人権擁護委員が小学校へ花の苗などを寄贈

6月2日、市の人権擁護委員が船引町内の芦沢、船引南、船引、美山、緑、瀬川の6つの小学校に花の苗、プランター、培養土を寄贈しました。

この事業は、児童がお互いに協力して花を育てることで思いやりの心を育み、人権尊重について理解を深めてもらうことを目的として行っています。

このうち芦沢小学校では、人権擁護委員から児童に花の苗などが贈呈されると、協力しながらプランターへ植えつけました。これからも大事に育ててください。



## 市エゴマ振興協議会 エゴマの苗を定植

6月17日、田村市エゴマ振興協議会によるエゴマの苗の定植作業が市内の畑で行われました。一本一本丁寧に植えられた苗は、順調に育てば夏には人の背丈ほどの大きさになり、青々とした枝葉を茂らせます。そして、秋にはエゴマの実が収穫でき、エゴマ油やパウダーの原料となります。

市内のエゴマは健康により成分がふんだんに含まれています。協議会では、今後も特産のエゴマを広くPRし、誰もが健康で笑顔が絶えないような地域づくりを目指します。



## 結婚支援 情報を共有し、世話やき人同志で交流を深める

6月18日、市役所で「結婚世話やき人座談会」が開かれ、世話やき人同志で交流を深めました。座談会では、成功事例、活動状況、支援したい独身者の情報などを共有し、さらにイベントの企画で盛り上がりしました。

市では、独身男女の出会いをサポートしてくれる結婚世話やき人、サポートされたい独身者を募集しています。

詳しい内容は、経営戦略室 ☎81-2117 へお問い合わせください。



## 産品販売 田村市・葛尾村・JAが協力して産品販売

6月20日、郡山市にある「JA福島さくら農産物直売施設あぐりあ」で、田村市・葛尾村の産品販売会が開かれました。会場はブランド産品や新鮮野菜を目的に会場に集まった、多くの家族連れでにぎわいました。

今回の販売会は、今年3月にオープンしたJA福島さくらの新しい直売施設で、中通りの田村市、浜通りの葛尾村が地域の代表的な産品を並べ、3者が協力してPR販売を行う初めての機会となりました。

